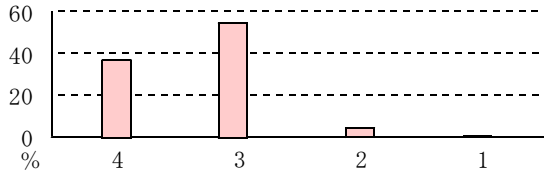


令和5年度 保護者による学校評価について

本校の教育活動及び運営状況について、12月初旬に保護者の皆様から評価していただきましたが、結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

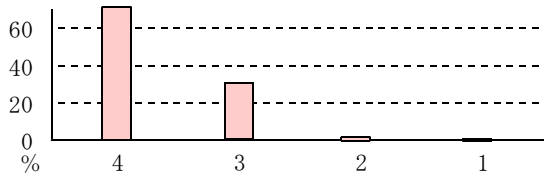
4 = たいへん思う 3 = そう思う 2 = あまり思わない 1 = 全く思わない

- ① 学校は、教育目標「自ら考え、行動する」を実現させるために効果的な取組を進めている。



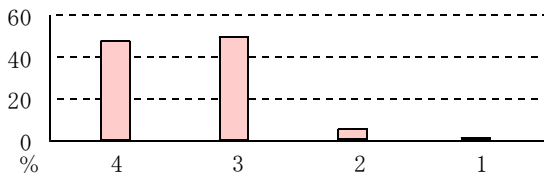
生徒に考えさせ、やらせてみる場を保障することに重きを置く学校経営を進めてきました。アイデアや意見を出し学校をよくしていこうとする姿に生徒たちの大きな進化を感じています。今後も生徒の声を生かす取組を続けていきます。

- ② 学校は、教育活動の様子を校報や学年通信等で分かりやすく伝えている。



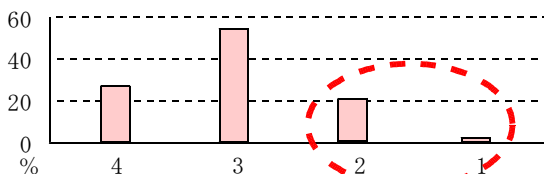
概ね十分だと考えている保護者がほとんどです。学校の働き方改革として昨年度から校報のメール配信を始めており、校長通信の動画配信もわが子の成長を間近で見られるため好評でした。今後も保護者の皆様との連絡を密にしていきます。

- ③ 学校は、保護者や地域と連携・協力しながら教育活動を進めている。



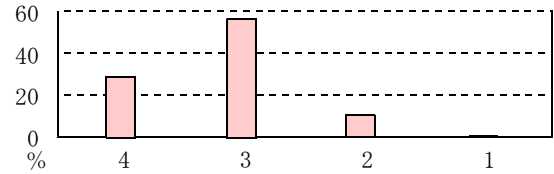
概ね十分だと感じている保護者の割合が昨年度とほぼ同様でした。家庭科の授業を中心に、たくさんの地域の方々から学習の支援をしていただきました。今後も地域コーディネーターと相談しながら地域の教育力を授業に生かしていきます。

- ④ お子さんは、夢や目標をもって学校生活を送っている。



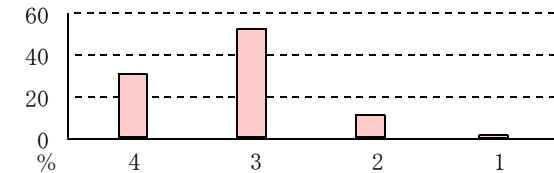
不十分だと感じている保護者がやや多くみられますが、県学習状況調査の結果とはややずれが生じています。1、2年生を中心に学校生活のあらゆる場面で生徒が認められていると感じられる場の充実を図っていきます。

- ⑤ 学校は、生徒の学習意欲を高め、学習習慣を身に付ける取組をしている。



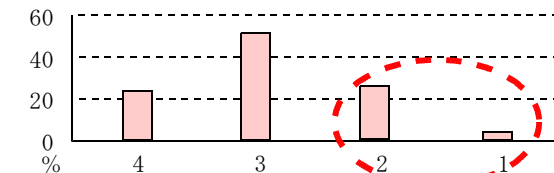
基礎学力定着のために、朝学習の内容を工夫し、家庭学習習慣の定着を図ることが課題だと捉えています。家庭での学習時間や内容について、保護者に生徒の実態をよく知ってもらうための方策を、担当部署で検討しているところです。

- ⑥ 教職員は、学力向上を目指し、生徒が「分かる・できる」授業を展開している。



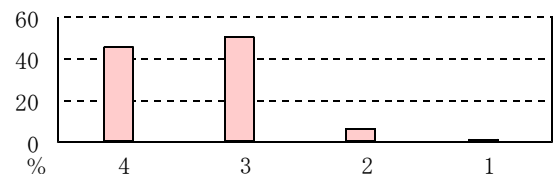
概ね十分だと感じている生徒の割合が昨年度より増加しました。今後も「分かった・できた」と感じる生徒が更に増えていくよう、協働的な学びだけでなく、一人一人の生徒の特性や個性に応じた学びを充実させていきます。

- ⑦ お子さんは、自ら計画を立てて家庭学習に取り組んでいる。



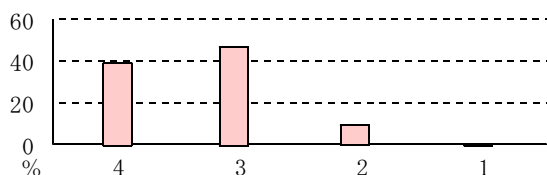
家庭学習については、不十分と感じている保護者が1、2年生に多くみられます。家庭でのメディア使用のきまりを生徒と一緒に考えるよう呼び掛けるとともに、学ぶことへの意識を高めるキャリア教育を充実させていく必要があると考えています。

- ⑧ お子さんは、学校生活のルールやマナーをよく守って生活している。



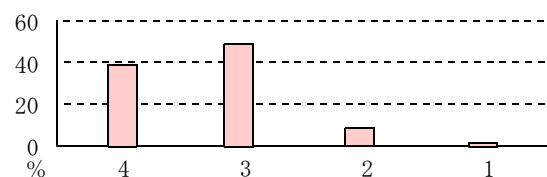
概ね十分と感じている保護者が多くみられます。月1回実施の学校生活アンケート等で、生徒が自己の生活を振り返る機会を設けています。日頃からアンテナを高くもち、生徒の変調にすぐに対応していきます。

9 教職員は、生徒のことをよく理解し、生徒同士のよりよい人間関係づくり（いじめ・不登校の未然防止）に努めている。



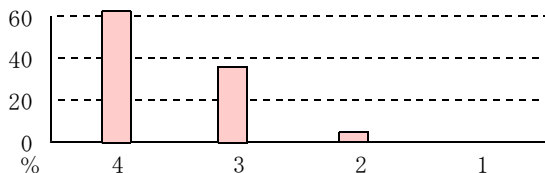
日常のふれあい、生活ノートや諸調査などの活用により生徒理解に努めています。学校で把握しきれないこともありますので、家庭の協力を得ながら生徒一人一人の状況を的確に捉え、きめ細かな教育相談を行うよう努めます。

10 教職員は、お子さんが困っているときに親身になって対応している。



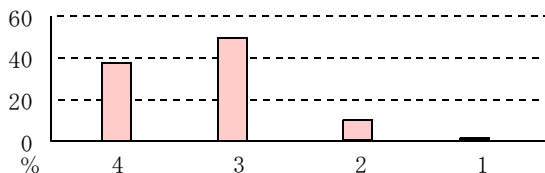
本校ではトラブルが起きたとき必ず複数の教職員で対応する体制をとっています。信頼される教職員となるように、生徒の気持ちに寄り添いながら対応していくよう今後も努めていきます。

11 学校では、部活動と学習との両立が図られるよう、活動日や終了時刻は守られている。



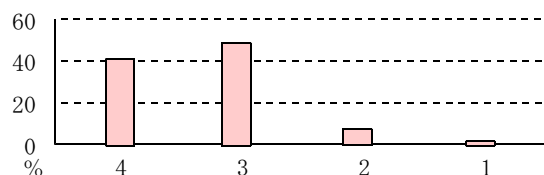
本校では水曜日を部活動休養日とし、土曜日か日曜日のどちらかを部活動休止日とすることとしています。終了時刻が定時（完全退校時間18:40）に終わるよう、繰り返し顧問や監督、コーチに声を掛けていきます。

12 学校の部活動では、責任感・連帯感を養い、望ましい人間関係の形成を図るなど意義に即した運営が行われている。



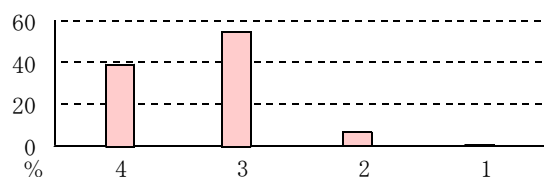
部活動は大会等で勝つことのみを重視するものではありません。活動を通して自主性・協調性・責任感等を身に付けていけるよう今後も指導していきます。

13 学校の部活動では、監督・顧問、コーチ等の指導が適切に行われている。



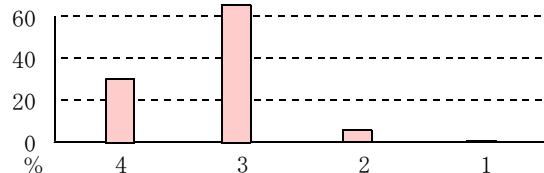
部活動通信等を利用して指導方針を保護者に明確に伝えるとともに、保護者と話し合いながら適切な指導が行われるよう努めていきます。部活動指導のあり方を教職員で再確認し、生徒にとって部活動が充実した時間となるよう努めていきます。

14 学校は、働くことや自分の将来について生徒が考える機会をつくっている。



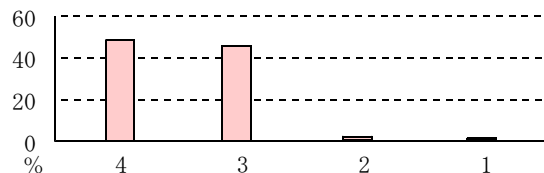
キャリア・スタート・ウィークや企業ガイダンスは、生徒が社会で感じる貴重な経験となるものと捉えています。今後も学校・家庭・地域との連携方法を模索しながら、生徒の自己探求をサポートする体制を充実させていきます。

15 学校のPTA活動は、計画的で協力的な活動が行われている。



PTA執行部のリーダーシップの下、計画通りに活動が行われました。コロナ禍を契機に見直したはずだった活動も復活しつつあります。授業参観、学年・学級PTAについては、来年度も同じような時期に開催する予定です。

16 学校は、生徒が安全・安心な学校生活を送れるよう環境を整えている。



概ね十分だと感じている保護者が多くみられます。教職員は事故発生時には迅速に対応するよう研修を行っています。頭頸部のけがの場合は、保護者に連絡し、速やかに受診させるようにしています。また、急な日程変更があった場合、メール等で迅速にお伝えしていきます。

お忙しい中、ご回答いただき（回答率99%）感謝申し上げます。頂戴いたしましたご意見やご要望を一つ一つ真摯に受け止め、現在、担当部署や諸会議にて検討しているところです。今後も保護者の皆様のご期待に応えられるように、全教職員が一致団結して改善に向けて努力してまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。